



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会社名 株式会社 御園座  
代表者名 代表取締役社長 長谷川 栄胤  
(コード番号 9664 名証第2部)  
問合せ先 執行役員管理部長 増井 敏樹  
TEL (052) 222-8202

## 平成 30 年 3 月期収益計画に関するお知らせ

当社は、本日、平成 30 年 3 月期の収益計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 29 年 3 月期収益結果及び平成 30 年 3 月期収益計画

(単位：百万円)

	平成 29 年 3 月期 (実績)	平成 30 年 3 月期 (計画)	差異
売上高	515	437	△ 78
営業利益	19	△ 286	△ 305
経常利益	21	△ 227	△ 249
当期純利益	18	△ 228	△ 246

#### 2. 平成 30 年 3 月期収益計画の概要

平成 30 年 3 月期の売上高については、平成 29 年 10 月開催予定の「錦秋名古屋顔見世」を中心に 437 百万円を見込んでおります。前年度実績対比△78 百万円の減少を見込む主な要因は、例年 3 月に 1 週間程度実施している歌謡ショーを、平成 30 年 3 月期は実施しないためであります。

また、平成 30 年 3 月期の営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも△230～△290 百万円程度の赤字の計画といたします。

平成 26 年 3 月期以降新劇場開場までの期間において、例年 10 月に開催している「錦秋名古屋顔見世」を中心に年間公演日数を絞った興行を行っており、それらの興行について、十分な準備や広告宣伝活動を徹底させ、収支の増強を図る一方、販売及び一般管理費を大幅に抑制した損益構造とした結果、平成 28 年 3 月期、平成 29 年 3 月期は営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも黒字を上げることができました。

平成 30 年 3 月期においても同様の取り組みを続けてまいるため、次に述べる特殊要因がなければ前年度同様営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも黒字の計画ですが、平

成 30 年 4 月開業予定の新劇場の開業準備に伴う特殊要因を約 300 百万円見込むため、上記のとおり営業利益、経常利益、当期純利益の赤字を見込むものであります。

新・御園座は、本年 12 月の竣工、引渡し、平成 30 年 4 月の開場に向け進捗していく予定です。何卒、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上